

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名

なないろ楽団

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			静養室を生活介護と共有で使っています。
	2	職員の配置数は適切である	6			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1		段差の所には簡易でスロープを付けれるように配慮しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			朝礼やミーティングで振り返ったりしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1		保護者等の意向については、面談などで把握している。年に1回アンケートを実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		HPを変更するにあたり担当者に記載のお願いをします。インスタで日々の様子、ホームページにアンケート実施後乗せています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		外部評価をおこなっているかわからない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			PECSや虐待防止の研修など各職員が興味をもった研修、事業所のスキルアップになる研修に積極的に参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			職員間で話し合い、多角的な意見を取り入れ個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			月に1度職員で話し合い活動プログラムを立てている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			月に1度職員で話し合い活動プログラムを立てている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			日間スケジュールを立て、活動を行っている。長期休みには1日のスケジュールを設定し支援している。長期前は大型企画をミーティング時に話し合いをして活動を決めている。個別活動を設定して実行することは難しいが長期休暇ならではの時間を使って活動している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			職員間で話し合い作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			朝礼にて報告、相談を行っている。長期休暇や短縮授業の時以外は行えている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1		朝礼にて報告、相談を行っている。長期休暇や短縮授業の時は厳しい	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	記録は取っているが正しい記録が取れているか不安である。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		半年に1回保護者様との面談を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6		季節に合った行事や自立支援に向けた活動を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		学校での様子を見学させてもらい担任の先生と情報を交換しやすい関係づくりを行っている。日々管理者が行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	2	該当なし 協力医療機関協定を結んでいる。医療機関がある。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		同法人の児童発達支援事業所と情報共有を行った。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2	該当なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	連携が取れるようにしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5	コロナウイルスも落ち着いてきたので交流会の期間をもうけたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3	コロナウイルスも落ち着いてきたので交流会の期間をもうけたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		支援記録やLINE等を活用して情報共有を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	5	体制をととのえていく必要がある。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に説明をおこなっている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		帰りの送迎の受け渡しの際に直接お話をしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	感染予防のため行っていませんでしたが今後開催していこうかと思っています。コロナウイルスが落ち着いてきたので父母の会を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		苦情解決責任者を設置して迅速な対応を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		SNSにて定期的に行っている。インスタグラムや公式LINE等を活用して情報発信を行っている。
	35	個人情報に十分注意している	6		

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			非言語コミュニケーション方法を提案している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3		コロナウイルスが落ち着いてきたので検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2		保護者様に同布できるよう検討していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			年に2回避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			月に1回倫理委員会を開催している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3		該当者がいません。指示書を作成して医師にもらえる準備をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			ヒヤリハットがあった場合は、朝礼で共有している